

平成31年2月7日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

青山, 池本, 板倉, 大木, 小寺, 菅, 園田, 高橋, 高見澤, 長澤, 中島, 平勢, 松田,
真鍋, 森本, 安富の各教授

秋葉, 池亀, 上原, 額定其芳, 藏本, 鍾, 古井, 米野の各准教授

海外渡航者

黒田, 佐藤の各教授

議事

1月17日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P5のとおり1件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会 (1月29日)

資料P6に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

2) 未来社会協創推進本部 (1月29日)

資料P7～11に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

3) 科所長会議 (1月29日)

① 平成31(2019)年度理事等の予定者

資料P13に基づき、平成31(2019)年度理事等の予定者について報告があった。

② 就業規則等の改正

資料P14に基づき、就業規則等の改正について報告があった。

③ UTokyo Global Summer Program(GSP)

資料P15～16に基づき、UTokyo Global Summer Program(GSP)の概要について報告があった。

④ 東京大学大学事業化推進助成制度(平成30年度東京大学GAPファンドプログラム)第三期公募

資料P17～20に基づき、東京大学大学事業化推進助成制度(平成30年度東京大学GAPファンドプログラム)の説明および第三期公募について報告があった。

⑤ 外国企業との連携に関する今後の対応

資料P21～22に基づき、外国企業との連携に関する今後の対応説明があり、共同研究を行う際には対応について十分確認していただきたいとの注意喚起があった。

⑥ PHS 内線サービスの終了及び次期サービスの検討

資料P 2 3に基づき、PHS 内線サービスの終了及び次期サービスの検討内容について説明があった。

⑦ 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等

資料P 2 4に基づき、寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置状況等について説明があった。

4) 予算委員会（1月29日）

資料P 2 5～3 1に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

5) 総長と研究所長・センター長代表者・医学部附属病院長との懇談（1月29日）

未来社会協創基金について懇談されたとの報告があった。

6) 成均館大学校・京都大学人文科学研究所共催合同シンポジウム

成均館大学校・京都大学人文科学研究所共催合同シンポジウムについて、隔年開催となり昨年度は開催がなかったが、本年は1月21日と22日に韓国にて開催され、ホームページにも報告を掲載したとの報告があった。併せて、担当の真鍋教授より今回のシンポジウムの概要および次回は東洋文化研究所で開催することとなるとの説明があった。

7) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 3 2～3 4に基づき、11件を承認した旨報告があった。

8) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 3 5に基づき、1件を承認した旨報告があった。

9) その他

1月10日に提出した平成31年度予算2次配分要求書について、2月1日にヒアリングがあったとの報告があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

安富委員長より

① T S C P促進事業の一環として、照明のLED化に対し補助が出ること、交換にかかる費用と削減される電気料金を比較すると数年で回収の見込みがあるとの説明があり、所内の照明のLED化にかかる補助申請を進めたいとの説明があった。

② 施設保全カルテに5年以内に修繕を要すると指摘された部分があるとの説明があり、早急の対応が望ましいと考え5年を待たずに再来年度を目途に工事を検討しているとの報告があった。

③ 2月にASNET研究室が医学部から東文研の第3会議室へ移転するとの報告があり、第3会議室は通常の会議や夏季期間中の訪問研究員用等の臨時研究室としての利用はできなくなるので注意いただきたいとの注意喚起があった。

2) 財務委員会

松田委員長より

① 資料P 3 6～3 7に基づき平成30年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会ともに計画的執行への協力要請および、通知済みである年度末における会計関連

書類の提出期限について、期限厳守への協力要請があった。

3) 研究企画委員会

青山委員長より、

① 平成30年度定例研究会の発表予定者について報告があった。

② 資料P38～39に基づき、平成31年度以降刊行予定について報告があった。

また、「東洋文化」については欠号にしたくないが現在応募がないとの現状説明があり、意見交換の結果、再募集をかけることとなった。

4) 情報・広報委員会

特になし

5) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

6) 図書委員会

大木委員長より、

アジア研究図書館開架スペースに移管する図書の選定について、委員会案を作成したとの報告があり、移管されては困る図書の確認について協力を依頼する予定であるとの報告があった。

7) GJS委員会

園田委員長より、

サマープログラムの実施時期を前倒すことで、例年依頼していた講師や宿泊先の確保などの調整が難しい状況が発生し、対策を講じているとの報告があった。

8) その他

特になし

5. その他

梶屋所長より、資料P40～44に基づき、1月21日に開催された教授のみの教授会での決議事項について報告があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、資料P45のとおり1件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P46～47のとおり受入れ4件が承認された。

8. 嶺南大学との合意書の締結について

園田教授より、資料P48～50に基づき、嶺南大学との合意書の締結について、目的および検討の経緯について説明の後、合意書を締結することについて提案があり、承認された。

9. 平成31年度所内予算案について

松田委員長より、資料P51に基づき、予算案について説明があり、続けて、資料P52～57の各委員会予算について、ヒアリングによる査定結果の説明があった。本件

については次回教授会にて再度審議したうえで確定するため、本予算案に意見のある方は次回財務委員会の前日までに申し出いただきたい旨説明があり、承認された。

10. 規則の改正等について

榊屋所長より、資料P 5 8～6 3に基づき、前回の教授会に引き続き、東洋学研究情報センター委員会の業務範囲の縮小に伴う所内規則の改正について提案があり、承認された。また、資料P 6 4～6 8に基づき、共同利用・共同研究拠点への申請の準備として本教授会において規則の改正案や制定案を審議し承認を得たが、共同利用・共同研究拠点に認定されなかったことから、本部への正式な手続きを経る前に本件規則案を取り下げたいとの提案があり、承認された。

11. 所内委員会について

榊屋所長より、資料P 6 9に基づき説明があり、承認された。

12. 教員人事について

榊屋所長より、

① 東大と北京大学とのジョイントプログラムを遂行するため、国際学術交流室（EAA）で新たに特任助教を採用したい旨提案があり、その後、中島教授より提案理由について説明があり、審議の結果承認された。

② 国際学術交流室の准教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、続けて、国際学術交流室人事選考委員長から、回収資料に基づき、准教授候補者について、選考過程、選考理由等の説明があり、投票を行った結果、可決された。

13. 教員の兼務について

榊屋所長から、下記の教員の兼務に係る照会がきている旨説明があり、審議のうえ承認された。

連携研究機構ヒューマニティーズセンター：中島教授、馬場准教授

アジア生物資源環境研究センター：池本教授

総合文化研究科(UTCP)：中島教授

総合文化研究科附属国際日本教育研究機構(PEAK)：中島教授、佐藤教授、鍾准教授

14. その他

板倉教授より、当日配付資料に基づき神奈川県立金沢文庫より特別展への協力依頼が届いていること、本件依頼は1人では対応できないため所として協力をお願いしたいこと、依頼を受けるに至る経緯、特別展に協力することが認められた場合の企画やスケジュール案について説明があり、特別展示への協力の可否について審議願いたいとの提案があった。審議の結果、所として協力することが承認された。

承認を受け板倉教授より、具体的に企画を進めるためのWGの設置や、講演等の企画を考えているので、協力願いたいとの依頼があり、榊屋所長からも協力願いたいとの要請があった。

以上